

平成29年チューリップ露地栽培の開花状況について

平成29年6月8日
経営普及課
(農業革新支援担当)

今年のチューリップ露地栽培の開花状況について、園芸研究センターほ場における主要5品種の調査データを紹介します。

1 栽培の概要

(1) 調査場所

農業総合研究所園芸研究センター露地ほ場（北蒲原郡聖籠町）

(2) 調査サイズ

11cm球（センター内で継続的に養成している球根を使用）

(3) 耕種概要

ア 植え付け 平成28年10月下旬

イ 施肥量 基肥 N：12kg、P₂O₅：12kg、K₂O：12kg/10a

追肥 N：5kg、K₂O：5kg/10a（平成29年2月上旬）

ウ 栽植距離 12cm×12cm、7条植え

2 気象の特徴

(1) 昨年10月下旬から11月にかけては、低温傾向で推移し、降雨も少なかったことから、球根の定植作業は順調に行われた。

(2) 今年1月中旬に平野部でも30cmを超える積雪があったものの、1月末には消え、総降雪量は平年よりかなり少なかった。

(3) 3月から5月にかけては、気温は平年並から高め、日照時間は多めで推移した。

(4) 降水量は、3月は少なめ、4月にまとまった降雨があったが、5月は少なめで推移した。

3 生育の状況

(1) 萌芽は平年並であったが、展葉及び初期生育は平年よりやや遅かった。

(2) 露地の開花期は、早生品種で平年より1～2日早く、中晩生品種はほぼ平年並で、開花の早かった前年と比べると平均1週間程度遅かった（表2、表3）。

(3) 開花時の花丈は、品種間差があるものの平均するとほぼ平年並で、前年と比べると2割程度長かった（表2、表3）。

(4) 4月中旬の強風により、一部で花茎の折損や軽度の茎葉のすれ等が見られたが、大きな被害はなかった。

(5) 褐色斑点病の発生は平年より少なめ、球根腐敗病の発生は平年並であった。

(6) ウイルス病の発生は平年並であった。

4 具体的データ

表 1 平成29年の生育実測値

系統	品 種	開花 月/日	花丈 (cm)	第1葉長 (cm)	葉幅 (cm)
T	メリーウイドー	4/19	33.1	17.7	12.1
T	プレルジューム	4/20	30.2	17.7	13.2
DH	オックスフォード	4/22	34.2	17.1	15.7
T	イルデフランス	4/23	29.1	16.9	12.2
SL	ピンクダイヤモンド	4/30	38.9	18.3	10.5
5品種の平均		4/22.8	33.1	17.5	12.7

表 2 平年（過去20年平均）と対比した生育状況

系統	品 種	平年差 (日)	花丈 (%)	第1葉長 (%)	葉幅 (%)
T	メリーウイドー	-1.2	124	107	113
T	プレルジューム	-2.3	98	103	100
DH	オックスフォード	-0.4	89	91	111
T	イルデフランス	-0.4	92	103	107
SL	ピンクダイヤモンド	+0.6	98	99	105
5品種の平均		-0.7	100	101	107

表 3 前年（平成28年）と対比した生育状況

系統	品 種	前年差 (日)	花丈 (%)	第1葉長 (%)	葉幅 (%)
T	メリーウイドー	+7.0	131	118	113
T	プレルジューム	+6.0	117	118	107
DH	オックスフォード	+7.0	103	112	115
T	イルデフランス	+8.0	112	108	110
SL	ピンクダイヤモンド	+8.0	124	121	112
5品種の平均		+7.2	118	115	111